

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	情報公開関係経費			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	町民・事業者	目的	町民の知る権利を尊重し、町政に対する理解と信頼を深めるとともに、町政資料の管理・保存を推進し、効率的な行政運営を図る。			
事業概要	情報公開に必要な文書管理・保存を総合的に推進するとともに、行政資料の集約により効率的な運営を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	02	0003 情報公開関係経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
			R 4 事業費			
	直接事業費	490	406		525	
	概算人件費	399	401		401	
	トータルコスト	889	807		926	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.09 人		401 千円		
	再任用職員	0 人		千円		
	会計年度任用職員	0 人		千円		
	その他	0 人		千円		
	合計			401 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 広報・広聴の充実	3.81	3.18
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

情報公開制度については、滞りなく実施できている。
 今後は、文書管理手法の統一化や、文書の電子化などを検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	職員育成推進事業			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	職員	目的	人材育成方針に基づき効果的な行政運営を行うため、適切な人事評価及び研修計画に基づいた研修を実施し、職員育成を推進する。			
事業概要	人災育成基本方針に基づいた研修計画により、派遣研修を行い、職員の意識改革と能力向上を図る。また、健康管理研修や人事評価研修、働き方改革研修など、町独自の研修を行い、知識と理解を深め、効率的な行政運営を推進する。					

事業予算					
会計	款項目			大事業	
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算見込	R4事業費
	直接事業費	0	660	1,070	
	概算人件費	1,024	1,207	1,207	
	トータルコスト	1,024	1,867	2,277	0
	国庫/県支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
R2概算人件費	正規職員		0.28人	1,207千円	/
	再任用職員		人	千円	
	会計年度任用職員		人	千円	
	その他		人	千円	
	合計			1,207千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	職員の研修等の延べ参加人数（人）	770 (平成30年度実績)	640	490	770	770
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	職員の能力の向上	4.09	2.78
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

コロナ禍において派遣研修はできなかったが、独自研修はサテライト方式などにより実施することができた。令和3年以降は派遣研修も再開される予定なので、引き続き受講を促進していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	人事評価制度導入事業			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	職員	目的	人材育成基本方針に基づき、適切な人事評価を通して、職員の意識改革を図り、積極的に課題に取り組むことができる職員の育成を推進する。			
事業概要	人材育成基本方針に基づき、人事評価制度を運用し、適切な評価を行うことで、職員の意欲向上や意識改革、創意工夫などを促し、効率的な行政運営を推進する。					

事業予算					
会計	款項目			大事業	
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算見込	R4事業費
	直接事業費	0	0	0	
	概算人件費	228	727	727	
	トータルコスト	228	727	727	0
	国庫/県支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
R2概算人件費	正規職員		0.17人	727千円	
	再任用職員		人	0千円	
	会計年度任用職員		人	0千円	
	その他		人	0千円	
	合計			727千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	人事評価の平均点数（点）	33.1 (平成30年度実績)	33.8	33.8		
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	職員の能力の向上	4.09	2.78
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	□	■	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 人事評価を通じて、職員間のコミュニケーションは図られている。今後は、昇給や昇格に反映できる制度や評価項目等の見直しをする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ガラスのうさぎ像平和と友情推進事業			所管課	総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					総合戦略
事業対象	町民	目的	平和に関する事業を実施することで、平和に対する意識の高揚を図る。		
事業概要	町の平和と友情のシンボルである「ガラスのうさぎ像」建立の精神を引き継ぐとともに、平和への関心を高めるため、うさぎ像平和と友情のつどいを開催する。また、千羽鶴の飾りつけを行う。				

事業予算					
会計	款項目			大事業	
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算見込	R4事業費
	直接事業費	157	25	403	
	概算人件費	725	234	725	
	トータルコスト	882	259	1,128	0
	国庫/県支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
R2概算人件費	正規職員		0.05人	234千円	
	再任用職員		人	千円	
	会計年度任用職員		人	千円	
	その他		人	千円	
	合計			234千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい参加者数（人）	500	500	コロナに伴い中止	500	500
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	人権・平和の推進	3.71	2.98
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 町独自の平和事業であり、その理念を継承し、次世代に平和の尊さを伝えていく必要がある。コロナ禍において実施できる手法の検討と、新しい生活様式に合わせて開催方法を確立していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	電算運用事業			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	職員・町民・事業者	目的	住民情報・財務会計システム等の安定稼働及び事務の省力化・効率化を図る。			
事業概要	基幹系システム、内部情報系システム、庁内ネットワーク等の安定的な運用に必要な業務を行う。また、e-KANAGAWA電子申請システムを活用した運用も引き続き行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	08	0001 電算運用事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算見込	
	直接事業費	37,154	50,333		35,155	
	概算人件費	9,034	9,573		9,573	
	トータルコスト	46,188	59,906		44,728	
	国庫/県支出金	2,391	3,267		1,061	
	その他	0	0		0	
R2概算人件費	正規職員	2.11人		8,060千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.7人		1,513千円		
	その他	人		千円		
	合計			9,573千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 安全で効率的な情報システム運用	4.05	2.97
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

各種システムの運用により業務の効率化が図られている。今後が住民サービスの向上や業務の合理化・効率化にあたり費用対効果を含め検討が必要である。また、自治体DXの推進も手法を含め検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			